

# 見初小・神原小

学 校

統合準備  
協議会

学 校

第 1 号

だより

平成26年11月発行

【編集・発行】

宇部市教育委員会  
学 校 教 育 課

電話 0836-34-8609

## 見初小学校・神原小学校統合計画の検討開始

「宇部市立見初小学校の適正配置に係る関係校区協議会」を平成22年7月から平成24年3月まで6回開催し、「見初小学校と神原小学校を統合に向けて協議していくため、両校区に（仮称）見初・神原校区の新しい学校づくり準備委員会を設置する。なお、岬小学校は単独で存続する。」こととし協議を終了しました。

その後、準備委員会を平成24年10月から平成26年1月まで4回開催し、教育委員会の考え方「神原中学校の敷地を活用した、施設一体型小中連携校」を追認し、新たな組織で統合の協議について進めていくこととしました。

そこで、統合のために必要な事項を協議していくため、両校区の地域団体の代表、見初小・神原小・神原中の保護者の代表や学校関係者で構成する統合準備協議会を新たに設置し、第1回目の会議を11月11日（火）18時半から、勤労青少年会館で開催しました。



協議会の様子

## 見初小学校・神原小学校統合準備協議会（第1回会議）の概要

### 1 会長、副会長を選出しました。



会長と副会長

■会長 福場 達朗

（神原校区文化体育委員協議会 会長）

■副会長 梅田 寛

（見初小学校学校運営協議会 会長）

### 2 今後の協議会の進め方が決まりました。

これから目指す施設一体型の小中連携校の全体像について確認し、より良い教育環境について、委員の認識を統一する。

その後、専門部会を設置して、統合に係る具体的な協議を進める。

# 見初小学校・神原小学校統合準備協議会（第1回会議）主な意見・質疑

## ■主な意見

●神原中学校保護者は期待感が強い、良い学校をつくって欲しい。

●神原小学校に琴芝校区の多くの児童が通学している。他校区から通学する児童について、今後どうするか協議する場をつくらないといけないと思う。

## ■主な質疑

**質問：**施設一体、小中連携について協議するため資料や図面を示してほしい。

**回答：**次回協議会で資料として国の考え方、先進地の事例や施設案等を示す。

**質問：**既存小学校の跡地利用について、宇部市はどう考えているのか。

**回答：**跡地利用について、現在、計画はない。

**質問：**学校が統合した場合、コミュニティはどうなるのか。

**回答：**別の問題、コミュニティと学校の統合は必ずしも一致して行うことではないと考えている。

**質問：**琴芝小学校も含めた統廃合は考えているのか。

**回答：**琴芝小学校の児童は約400人と多く、現時点で琴芝小学校を含めた統合は考えていない。

**質問：**小中一貫校を見据え、連携校としての協議を進めていくほうがよいのでは。

**回答：**小中連携校を目指すということで追認をいただいたが、国は一貫教育を制度化する方針を打ち出すなど情勢は変わってきている。本協議会も、この状況を踏まえ協議を展開していく必要があると考えている。

## 委員名簿

見初小学校関係			神原小学校関係			神原中学校関係		
地域 代表	見初小学校学校運営協議会 会長	梅田寛	神原小学校学校運営協議会 会長	福田幸三	神原中学校学校運営協議会 委員	櫻井正明		
	見初校区自治会連合会 会長	岸本巖	神原校区社会福祉協議会 会長	松戸芳明				
	環境衛生連合会見初支部 役員	関勝治	神原校区文化体育委員協議会 会長	福場達朗				
	見初校区社会福祉協議会 会長	山本吉良	神原防犯連絡所指導員協議会 会長	河野恒人				
保護者 代表	見初小学校育友会 会長	大谷英治	神原小学校PTA 前会長	岡田旨博	神原中学校PTA 会長	松本鉄己		
	見初小学校育友会 副会長	山口活代	神原小学校PTA 副会長	櫻井知徳	神原中学校PTA 副会長	山根輝久		
	見初小学校育友会 副会長	原田真由美	神原小学校PTA 副会長	川本満隆				
学校 代表	見初小学校 校長	上田隆敏	神原小学校 校長	柳林洋二	神原中学校 校長	藤友秀樹		



委員委嘱状交付



市長あいさつ

# 見初小・神原小 学校 学校

統合準備  
協議会

だより

第7号

平成29年5月発行

【編集・発行】

宇部市教育委員会  
学校教育課

電話 0836-34-8609

## 見初小学校・神原小学校統合準備協議会（第7回）を開催

平成29年3月29日（水）19時から勤労青少年会館で見初小学校・神原小学校統合準備協議会（第7回）を開催しました。

本協議会は見初小学校と神原小学校の統合に係る必要な事項を協議するため平成26年11月に設置し、第3回の会議（平成27年3月開催）において新しい小学校は神原中学校の敷地で小中一貫教育を実施する学校として整備することを決めました。

しかし、委員が大幅に入れ替わった第4回の会議（平成27年10月開催）で、これまでの協議会の進め方への批判や疑問などの発言が相次ぎ、統合に係る具体的な事項の協議については、第3回の会議から約2年間進んでいません。

このような状況を受け、今回（第7回）の会議において各団体から「第3回の会議での決定事項」についての考え方を改めて表明してもらい、本協議会の存続の是非について判断することとしました。

神原校区・神原小学校保護者からは「校舎の状況等から神原中学校の敷地で施設一体型の小中一貫教育学校を望む。神原小学校だけでも実施したい。」との発言がありました。見初校区・見初小学校保護者からは「5月に設立する『（仮）見初地域づくり協議会』で協議し、8月を目途に結論を出す。」との発言があり、また神原中学校の保護者からは「不安材料が多く賛成・反対の判断ができない。」との発言がありました。

最後に、教育委員会から、「子どもたちにとって小中一貫教育の成果が最も表れるのは施設一体型、そのためにも校区の方に丁寧に説明し理解を得るよう努力する。」との説明がありました。

### 【決定事項】

- ・見初校区は、5月に立ち上げる「見初地域づくり協議会」で協議をおこない、8月を目途に統合の是非について結論を出す。
- ・見初校区の結論を踏まえ、統合準備協議会の存続・廃止を決める。

### 【各団体の発言要旨】

#### （神原校区・神原小学校保護者）

- ・神原小学校校舎の建て替えが困難であることは理解している。
- ・子どもたちにはよりよい環境で小中一貫教育を受けさせたい。
- ・神原中学校の敷地で施設一体型の小中一貫教育校を望んでいる。
- ・神原小1校だけでも実施したい。

### (見初校区・見初小学校保護者)

- ・全体集会を開催したが関心が低く人集めに苦労した。
- ・どちらかというと賛成の方が多い。
- ・5月に新たな組織「(仮)見初地域づくり協議会」を設立する。この協議会の中で学校統合の是非について8月を目途に結論をだす。
- ・統合に決まった場合は、住民の不安を解消するための準備委員会を設立し、教育委員会との協議の場を持ちたい。

### (神原中学校保護者)

- ・平成28年11月にPTAでアンケートを実施した。
- ・アンケート結果をみると中学校の敷地の活用について大半が不安に思っている。
- ・不安材料が多く賛成と言えないが、本当に反対とも言い切れない。

## 【その他発言要旨】

### (神原小学校校舎について)

- ・神原小学校の校舎は、国の補助金が出ないので建て替えできないとの話だが、校区の方はもう少し建て替えを要望されるべきでは。
- ・義務教育学校の多くは施設分離型で、施設一体型は非常に少ない。
- ・神原小学校の校舎が建て替わったら義務教育学校は施設分離型ですぐにできる。

### (見初校区での協議について)

- ・見初校区の住民も神原小学校の校舎の問題は気にしているので、そのことを踏まえ話し合う。
- ・小中一貫教育校について考える材料がない。教育委員会はビジョンを示して校区民に説明してほしい。
- ・若い人の意見としては一緒の方がいいという感じがある。

## \* 第6回会議(平成28年7月25日開催)以降の動向

- ① 見初小学校・神原小学校統合に関する意見交換会  
開催日・場所 平成28年11月25日 見初ふれあいセンター  
主催 見初校区コミュニティ推進協議会  
参加者数 約30名
- ② 神原小学校の統合に係る説明会  
開催日・場所 平成29年2月5日 勤労青少年会館  
主催 神原校区コミュニティ推進協議会  
参加者数 約24名
- ③ 見初小学校・神原小学校の統合問題の地域懇談会  
開催日・場所 平成29年2月17日 見初ふれあいセンター  
主催 見初校区コミュニティ推進協議会  
参加者数 約12人